

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年8月28日 No. 1152

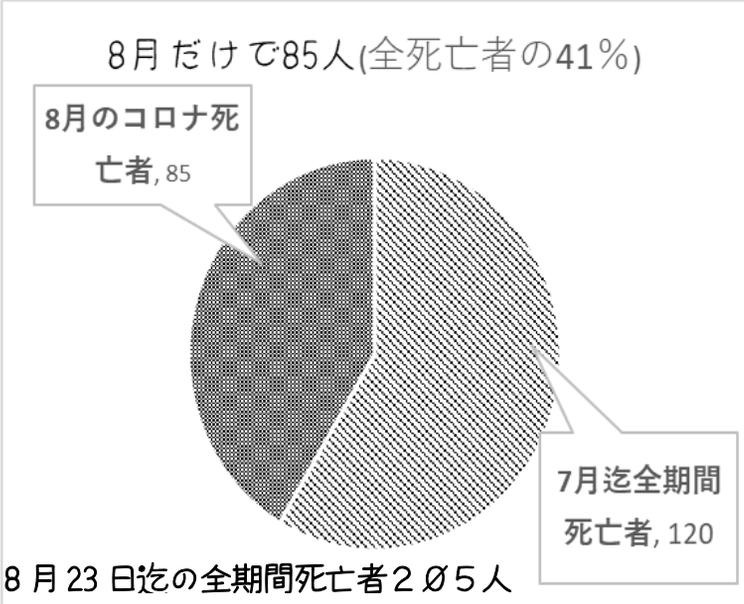
事務所

きらとみひこ
吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878
蕨野事務所 846-2046
県議会控室 823-9524

県議団 今夏2回目の緊急知事要請

市町村に自宅療養サポートセンターを



★コロナ感染者一日2千人へ迫る

先週お知らせしました死亡者数は、今週はさらに激増。コロナ感染が始まって以来この7月末迄の2年3か月の死亡者は120人ですが、今月に入って23日間だけですでに85人もの尊い命が奪われ、累計205人となりました●この死亡者数激増の背景は、軽症だからというまことしやかな理由で国も県も以前の様な行動制限・自粛&補償給付をしない事があることは明らかです。病院職員の感染も多発、職員の頑張りにも限界があり、発熱した市民はもとより救急車の受け入れ困難が続発し通常医療にも支障が出始めています●介護施設では家族に医療措置は困難だからと、看取りを告げる例が聞かれています。このまま突き進む事は許されません。一旦、感染者数減を図ることが急務ではないでしょうか。国と県は補償とセットで行動制限・自粛を求め先ずは感染者減を図るべきです。それは医療体制を守り命を守り経済活動の早期平常化を図る事につながります。



カラリンにやんでも通傷

日本共産党高知県委員 会と同県議団は19日、浜田省司知事に新型コロナウイルス「第7波」の危機的事態から県民のいのちを守る緊急要請をしました。

要請書は、「『第7波』が猛威を振るい、県内でも、連日1000人を超える感染者数を認めるなど、かつてな

い感染爆発が起きている。医療施設や高齢者施設などの集団感染が相次ぎ、保健・医療体制のひっ迫は深刻」と指摘。▽保健所業務のひっ迫を改善するた

井上副知事(手前)に要請する塚地佐智・県議団長(右から2人目)ら19日、高知県庁



め派遣職員を抜本的に増員し、業務がひっ迫する時間帯にマンパワーを確保するなど運用の見直しをはかる▽自

宅療養サポートセンター(仮称)等を設置し、保健所の関与を経ずに必要な食料・生活物資が自宅療養者に届く仕組みを構築する▽命を守る医療提供体制を維持するため、医師会等とも協力しマンパワー確保に尽力するーなどを提起しています。

応対した井上浩之副知事は、自宅療養サポートセンターについて「よい提案だ」とのべたものの、「設置は考えていない。保健所を中心に、希望者にできるだけ届くように手配している」などと回答しました。

「第7波」の対策急げ

党高知県委・県議団 県に緊急要請

しんぶん赤旗
8月23日より